

ジュエリーに秘められた いま メッセージを現代に伝える。

フランスの歴史とともに歩んできたショーメは、今年ウォッチ誕生200周年を迎えます。伝統を守りつつ、常に新しくありつづける名門メゾンの魅力をショーメ・パリ社長ティエリー・フリッチ氏のインタビューを交えてご紹介いたします。



王妃マリー・アントワネットの宝飾商、オペールのもとでの修業を終えたジュエリー・マリー・エティエンヌ・ニトは、1780年に自身のメゾンを創業し、貴族階級に多くの顧客を持ったニトは、1802年、ナポレオン1世の御用達宝飾商に指定されます。ナポレオンは、宝飾品を政治的な権力を顕示する道具と考えており、ニトはナポレオンのために、140カラットのリージェント・ダイヤモンドをあしらった「統領の剣」を、2年後の戴冠式には、聖なる宝飾品や「帝国の剣」を作り出す。さらにはナポレオンが生涯愛した女性、皇妃ジョゼフィーヌやその皇妃マリー・ルイーゼのために、次々に素晴らしいジュエリーが生まれ出されるのです。こうしてニトはジュエリーを通じ、ナポレオンや皇室の威信の一端を担っていきます。ニト以降も、彼の後継者と職人たちによって伝統と技術が引き継がれ、ショーメは世界中の王侯貴族に愛されることとなります。

1804年、ジョゼフィーヌが戴冠式に身につけたことから始まった、ショーメのティアラは、カラーストーンで花や植物、果物の葉など自然をモチーフにしたスタイルが特長。クモの巣とミツバチのモチーフの「アトラップ・モワ」のティアラは、伝統に培われた感性と愛が溢れています。アトラップ・モワティアラ ¥4,189,500、リング ¥2,205,000。

CHAUMET PARIS

名門ジュエラーが作り出した、 センチメンタルジュエリー。

時を経てもお、輝き続ける
ジュエリーコレクション。

センチメンタルジュエリーを生み出す、天才ジュエラー・ニトラによって、現在のショーメのブランドシンボルとなる代表的なコレクションが作られました。帝政時代、ナポレオン1世のケープを飾ったミツバチは「アトラップ・モワ」のテーマとされている他、戴冠式にティアラをはじめ数々のジュエリーを身につけたジョゼフィーヌは、多くの宮廷婦人の憧れの的となり、ショーメの初代ミュージックとしてクリエーションの源にもなりました。ジョゼフィーヌとその子供たちの名前を組み込んだ、アクロスティック・プレスレットの伝統をもとに考案された「ABC・ドウ・ショーメ」は、カラスストーンの頭文字を組み合わせて永遠のメッセージを込めることができます。このように時を経ても色褪せることの

ないショーメのジュエリーに、230周年を記念し、新たに「ジョゼフィーヌ」コレクションが加わりました。品格と知性、慈愛の心、そして美しいものに対する探究心を持つジョゼフィーヌを賞賛し、彼女に捧げるジュエリーが誕生。またジョゼフィーヌの息子がオーダーしたジュエリーウォッチが作られた1811年から今年がちょうど200年で、ウォッチ誕生周年記念の年になります。

歴史的遺産と
ジュエリーとしての責務。

ナポレオン「統領の剣」のダイヤモンドは、ルーブル美術館展示されているほか、ティアラなどのジュエリーやデザイン画なども歴史的遺産として大切に保存されていますが、多くの文化遺産を受け継ぐものとして、ショーメはダイヤモンドに対する倫理的な行動や環境保全活動にも

力を注いでいます。また「Save the Bee」キャンペーンの一環として、かつてナポレオンの権力の象徴であったミツバチモチーフの「アトラップ・モワ」コレクションは、フランス環境保護団体「テール・ダベイユ」のミツバチ保護に役立てられるなど、活動を支持しています。

プリンセスのための
ジュエリー、ショーメ。

ショーメと日本の関係は、19世紀末頃にはじまり、1921年に昭和天皇がフランス公式訪問の際にショーメ本店にお立ち寄りになったのをは



「ジョゼフィーヌ」の最新コレクションからウォッチが登場。ホワイトゴールドにふんだんにダイヤモンドをあしらった限定品。ボウタイのモチーフの中央にブリリアントカットのダイヤモンド配したラグジュアリーなリング。ジョゼフィーヌウォッチ ¥4,725,000、リング ¥1,050,000。

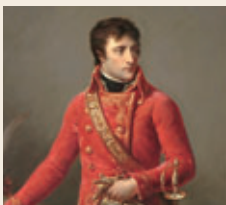
じめ、多くの日本人が訪れ、1990年、初出店以降、日本国内でも発展を続けています。「日本人は非常にエレガントで、洗練されているので、ショーメのロマンティックなジュエリーが似合うと確信している」というティエリー・フリッチ社長。「ショーメはプリンセスのためのブランドとして始まりました。ショーメなくして、女性はプリンセスを体感できないでしょう。ショーメのジュエリーを身につけて、ステキなプリンセスになっってください」と、ミッドランドスクエアプレミアム会員の皆様へ、ティエリー氏の愛のあるメッセージをお伝えします。



ショーメ・パリ社長
ティエリー・フリッチ氏
Thierry Fritsch

1955年フランス アルザス コルマル生まれ。カルティエやクリストフルのマーケティング、マネージングディレクターを経て、2001年、ショーメ代表取締役社長に就任。現代絵画鑑賞やクラシックカーのコレクション、フィッシングと多趣味。

ナポレオン・ボナパルト、のちに皇帝となったナポレオン1世は、フランスがクリエイティブでラグジュアリーな文化の中心であることを望み、公式ジュエラーのニトに皇室の威信と権力を象徴する豪華なジュエリーを数多く作らせた。



ヴァンドーム広場12番地の本店上階ル・グラン・サロン。ショパンが遺作マズルカ68-4を作曲、演奏した場所としても有名。1927年に歴史的建造物に指定され、18世紀のフランス建築の代表といえる。

* Shop Information

ショーメ
Chaumet

[ジュエリー&ウォッチ]

- ミッドランド スクエア 1F
- TEL/052-587-1006
- 営業時間/ 11:00~20:00
- URL/
<http://www.chaumet.com>

